

チューリップ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	青かび病	葉腐病	うどんこ病	灰色かび病	褐色斑点病	球根腐敗病	かいよう病	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	チューリップサビダニ	ネダニ
オンリーワンFL	DM I	3	*f	1							◎					
スポルタック乳	DM I	3	*f	1							◎					
トリフミン水	DM I	3	*f	1							◎					
トリフミン乳	DM I	3	*f	1							◎					
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1	*a	1							◎					
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1	*a *f	2							◎					
アフェットFL	アミド	7	*d	3			◎	◎	◎							
バスタック粉剤D L	アミド	7	*f	1			◎									
エムダイファー水	有機硫黄	M3	*d	8							◎					
リゾレックス水	有機リン	14	*f *e	1 5			◎									
リゾレックス粉	有機リン	14	*c	1			◎									
オーソサイド水80	他	M4	*b	8	◎											
ダコニール1000FL	他	M5	-	6							◎					
フロンスайд水	他	29	*d *f	7 1				◎	◎			◎				
フロンスайд粉	他	29	*f	1			◎									
ベルコートFL	他	M7	*h	8							◎					
アタッキン水	抗生物質・ベンゾイミダゾール	25・1	*a	1							◎	◎				
ラビライト水	ベンゾイミダゾール・有機硫黄	1・M3	-	5				◎	◎							
ホームイコート水	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1	*a	1							◎					
ホームイ水	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1	*a	1							◎					
ティービック水	有機硫黄・他	M3・20	*f	1			◎									
ポリベリン水	他・抗生物質	M7・19	*d	8					◎	◎						
ダニゲッターFL	殺ダニ	23	*f	1												球
モベントFL	殺ダニ	23	*k	2												◎
ジメトエート粒5	有機リン	1B	劇	*i	3											◎
スプラサイド乳40	有機リン	1B	劇	*h	1									◎		灌
ウララ50D F	他	29	*h	6									◎			
ハチハチFL	他	21A	劇	*h *j	3 1								◎			球

*a: 植付前又は貯蔵前 *b: 球根掘取時及び植付時(球根浸漬) *c: 植付時 *d: 発病初期
 *e: 植付後～萌芽前 *f: 植付前 *h: 発生初期 *i: 定植時 *j: 掘取後～植付前
 *k: 摘花後～球根掘取前まで 球: 球根浸漬 灌: 株元灌水

チューリップ

チューリップ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
葉腐病	植付前または植付時	<ul style="list-style-type: none"> ・発病のおそれのある所では次の薬剤のいずれかを処理し、土壌混和する。 フロンサイド粉剤 植付前 30～40kg/10a リゾレックス粉剤 植付時 10～20kg/10a 	病原菌は低温性のリゾクトニア菌である。
灰色かび病		<ul style="list-style-type: none"> ・室内、フレーム内はできるだけ湿度を低く保つ。 	●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
	生育期(出蕾前)	<ul style="list-style-type: none"> ・発病前から次の薬剤のいずれかを散布する。 フロンサイド水和剤 2000～4000倍 ラビライト水和剤● 500～800倍 	
球根腐敗病	植付前または貯蔵前	<ol style="list-style-type: none"> 1. 購入球根はただちに平箱にひろげ、病球を除去して十分乾燥させる。 2. 貯蔵前又は植付前に次の薬剤のいずれかで球根消毒する。 アタッキン水和剤 球根重の0.2～0.5%粉衣 スポルタック乳剤# 100倍15分または200倍30分浸漬 フロンサイド水和剤# 100～200倍15分浸漬 ベンレート水和剤 20倍瞬間浸漬# 100～500倍15～30分浸漬 球根重の0.1～0.2%粉衣 ホームイ水和剤 200倍 30分浸漬 球根重の1%粉衣 3. 次の薬剤いずれかで土壌消毒する。 ガスタード微粒剤* バスアミド微粒剤* いずれも20～30kg/10a 	<p>球根消毒(浸漬消毒)の終わったものは陰干し後、貯蔵する。</p> <p># 植付前のみ適用</p> <p>*花き類・観葉植物での登録</p>
かいよう病	植付前	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤で球根を粉衣する。 アタッキン水和剤 球根重の0.2～0.5%粉衣 	春先寒暖の差が激しい年に発生が多くなる。 病原細菌は種球で越冬する。

チューリップ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類		1. 発生初期に次のいずれかの薬剤を散布する。 オルトラン粒剤(株元散布) * 3~6kg/10a ウララ50DF 10000倍 2. 施設栽培ではくん煙剤を使用する(くん煙剤の項参照)。	つぼみや花弁に寄生が多い。 *花き類・観葉植物での登録
チューリップサビダニ	植付前	・次の薬剤で球根浸漬を行う。 ダニゲッターフロアブル 500倍 15分	
クキセンチュウ	植付前	1. 連作をさける。 2. 球根を50℃の温湯に20~30分間浸漬する。	
その他の病害虫		モザイク病	